

# ブリ人工種苗増産にかかる勉強会について

## ブリ人工種苗増産にかかる検討会（勉強会）の目的とこれまでの経緯

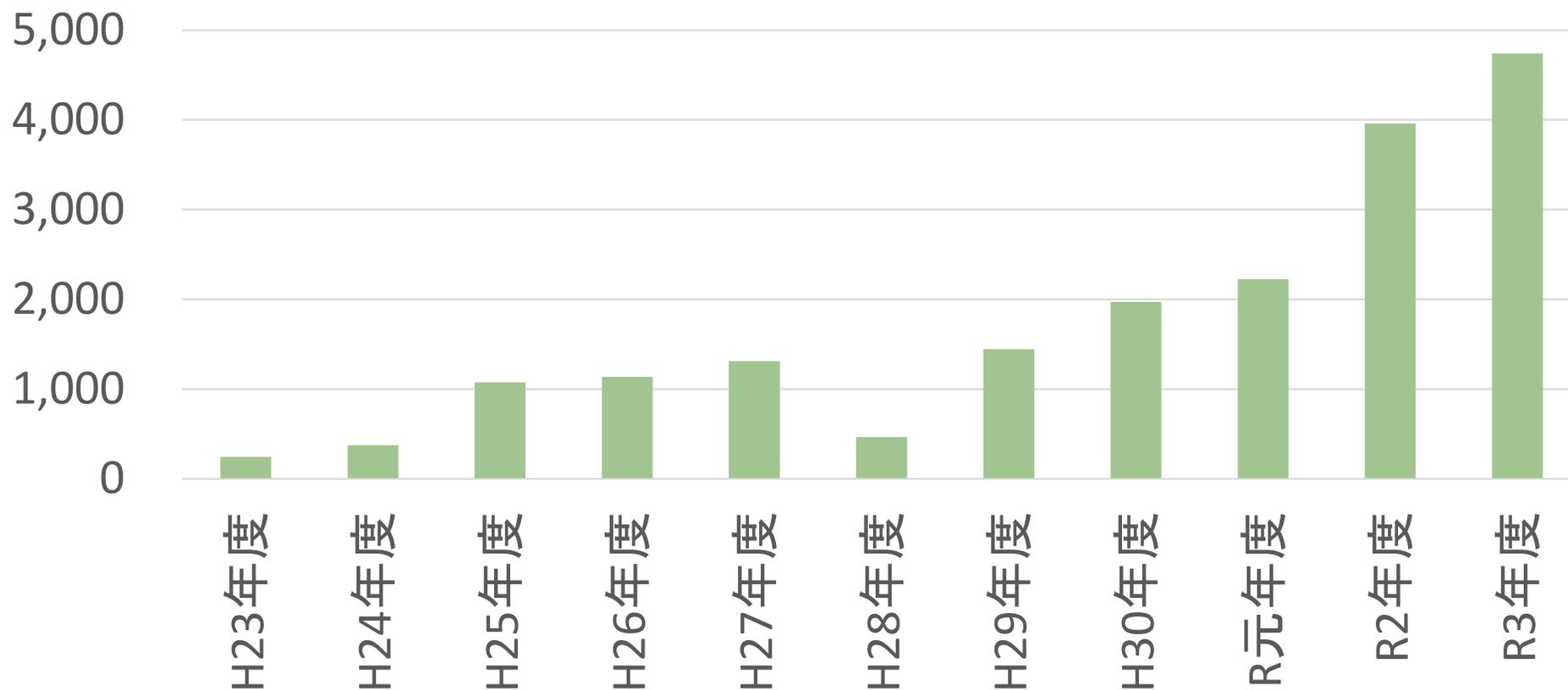
◆養殖業の成長産業化には、種苗の安定確保が欠かせない状況。また、持続可能な養殖に向けて、「みどりの食料システム戦略」にある2050年目標の人工種苗100%を推進するため、増産に向けた課題整理と対策の検討を目的とし、検討会を設置。

	会議名	会の概要
2021年（令和3年）	第1回 ブリ人工種苗増産にかかる検討会	現状の共有と課題整理
	第2回 ブリ人工種苗増産にかかる検討会	育種及び種苗需給体制の構築にむけての課題整理
	第3回 ブリ人工種苗増産にかかる検討会	全体を通じた課題整理
2022年（令和4年）	第1回ブリ人工種苗増産にかかる勉強会	現状の情報共有
2023年（令和5年）	第2回ブリ人工種苗増産にかかる勉強会	現状と課題の再整理 育種及び種苗需給体制について

## 現状と課題の再整理

- ◆2021年現在のブリ人工種苗生産状況は以下の通りで約500万尾
- ◆増産については、現在の施設では、1.1～1.5倍程度が限界
- ◆課題については、親魚養成や種苗生産施設の不足、技術者の不足、天然種苗とは異なる疾病、需要が不安定などの問題が存在

## ブリ人工種苗生産実績(千尾)



## 今後の勉強会の取組について

1. 人工種苗の生産実績や人工種苗による養殖実績については、本会を通じて一定程度の把握ができた。しかし、以下の情報については引き続き収集や整理が必要。

- 今後の国内全体での増産の可能性（施設規模）
- 国や県や民間との連携体制
- 沖出し漁場の有無
- 中間育成業者との連携など

2. ブリ人工種苗増産のスキーム（種苗供給体制）についても、関係各所と十分に検討を行い、今後も勉強会等で意見を頂きたい意向。

**ブリ人工種苗の増産と普及に向けて引き続き課題解決に向けた取り組みの実施が必要**